

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成26年10月24日

【事業年度】 第42期(自 平成24年8月21日 至 平成25年8月20日)

【会社名】 ケイティケイ株式会社

【英訳名】 ktk INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 青山 英生

【本店の所在の場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931-1881(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 木村 裕史

【最寄りの連絡場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931-1881(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 木村 裕史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
ケイティケイ株式会社 東京支店  
(東京都大田区蒲田四丁目22番3号 住友生命蒲田ビル3  
F)  
ケイティケイ株式会社 大阪支店  
(大阪府中央区南船場一丁目13番14号 西田ビル4F)

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年11月13日に提出いたしました第42期(自 平成24年 8月21日 至 平成25年 8月20日)有価証券報告書の記載事項の一部に不足がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第5 経理の状況

##### 1 連結財務諸表等

##### (1)連結財務諸表

##### 注記事項

##### 関連当事者情報

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

(訂正前)

### 【関連当事者情報】

当連結会計年度(自 平成24年 8月21日 至 平成25年 8月20日)

#### 関連当事者との取引

#### 連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等

種類	氏名	所在地	資本金又は出資金(千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
主要株主	加藤道明			当社最高顧問	(被所有)直接 15.2		顧問料の支払	14,400		

(注) 1 上記の金額のうち、取引金額には消費税が含まれておりません。

2 取引条件及び取引条件の決定方針等

顧問料は、最高顧問に関する内規に基づき決定しております。

(訂正後)

## 【関連当事者情報】

当連結会計年度(自 平成24年 8月21日 至 平成25年 8月20日)

関連当事者との取引

## 連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主等

種類	氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
主要株主	加藤道明			当社 最高顧問	(被所有) 直接 15.2		顧問料の 支払	14,400		
役員及び その近親者	青山英生	—	—	当社 代表取締役 社長	(被所有) 直接 13.4	—	株式交換	148,920	—	—
役員及び その近親者	青山正幸	—	—	株式会社青雲 クラウン 代表取締役	(被所有) 直接 3.2	当社 代表取締役 社長の近親者	株式交換	37,128	—	—
役員及び その近親者	川島和之	—	—	株式会社青雲 クラウン 取締役	(被所有) 直接 4.0	当社 代表取締役 社長の近親者	株式交換	46,716	—	—
役員及び その近親者	青山知広	—	—	—	(被所有) 直接 3.0	当社 代表取締役 社長の近親者	株式交換	34,680	—	—
役員及び その近親者	青山深雪	—	—	—	(被所有) 直接 2.3	当社 代表取締役 社長の近親者	株式交換	26,520	—	—
役員及び その近親者	青山智子	—	—	—	(被所有) 直接 1.4	当社 代表取締役 社長の近親者	株式交換	16,320	—	—
役員及び その近親者	橋本佳世	—	—	—	(被所有) 直接 1.4	当社 代表取締役 社長の近親者	株式交換	16,320	—	—
役員及びその 近親者が 議決権の過 半数を所有 している会 社	青雲堂 株式会社	名古屋 市中区	3,000	不動産の賃貸 及び管理	(被所有) 直接 7.7	—	株式交換	89,760	—	—

(注) 1 上記の金額のうち、取引金額には消費税が含まれておりません。

2 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1)顧問料については、最高顧問に関する内規に基づき決定しております。

(2)株式交換については、株式会社青雲クラウンの完全子会社化を目的としたものであり、株式交換比率は、第三者による株式価値の算定結果を参考に当事者間で協議し決定しております。

(3)青雲堂株式会社は、青山英生の近親者が100%保有する会社であります。